

人権に関する作文・絵画(小中学生の部)入選作品

すべての市民の基本的な人権が尊重され、差別のない明るく住みよい町の実現に向けて、人権に関する標語、絵画、作文を募集しました。その中から、入選作品を随時紹介します。(学年は令和元年度のものです。)

困^{こま}ったら
みんな^{みな}で助^{たす}ける
地^ちいきの輪^わ

吉川小学校 4年
田村 真

し^あかりと
相^あ手のい^いけんも
ち^ちゃんと^とぎ^ぎに^にじ^じょう

東能勢小学校 6年
小谷 早馬

自^じ信^{しん}をも^もつて
その手^てはだ^だれか^かを
す^すくえ^えるよ

東ときわ台小学校 4年
石田 恵理花

考^{かん}えて
その行^{こう}動^{どう}で
か^かわる人^{ひと}

光風台小学校 4年
濱子 紗綾

どうしたらいいか

光風台小学校 6年 田中 宏樹

ぼくは、バラスポーツ選手の原口さんの授業を受けました。
これまでは、障害がある人はその分自由がなくなっていると思っていました。でも、原口さんの授業を受けて考えが変わりました。今までのぼくは、障害があるから、難しいだろうな、と思うことがありました。それがこの授業を受けて、できない・難しい、ではなくて、どうしたらできるのか、どうすればいいかを考えることが大切なんだなと思いました。
そしてもう一つ、ぼくはバラスポーツの道具にたくさんの工夫があることを知りました。
例えば、目が見えない人のために、サッカーに使うボールの中に「すず」を入れて音が出るようにしていたことを知り、とてもびっくりしました。そして、考えた人はすごいと思いました。
ぼくは、原口さんの授業を受けて、これからは、難しいことがあっても、どうしたらいいか、などを考えようと思いました。そして、もし、これから困っている障害のある人がいたら、すぐに助けたり、手伝ったりしようと思いました。

修学旅行に行つて

東能勢小学校 6年 村上 了響

私は、修学旅行に行く前に、ぜんぜん行く気になりませんでした。でも、行ってみると、行つてよかったなと思いました。理由は、平和について知ることができたからです。
長尾ナツミさんの話を聞いて、「何があっても負けない」、「がまんする」、「大きな希望をもつ」、「戦争だけは絶対にならない」、「人間は一人では生きていけないから、ささえ合せて生きていく」という言葉が心にのこりました。この五つの言葉は、すごく大切だと思います。
私は、長尾ナツミさんの話を、しんけん^{しんけん}に聞きました。私は人の話を、まともに聞いたことがなかったのに、なぜか長尾ナツミさんの話だけ、初めてしんけん^{しんけん}に聞きました。
長尾ナツミさんは、八十九歳なのに、お元気で、強かったです。もっと長生きしてほしいです。そして、世界中の人に戦争のおそろしさや、平和について知ってもらいたいです。長尾ナツミさんと出会えてよかったなと思います。
公園内の見学では、原爆ドームやアオギリなどがのこったのはすごいと思います。ヒロシマには、修学旅行生や、外国人観光客など、いっぱい人がいました。
ちかいの言葉の中に、「私たちは、戦争で亡くなった人たちの分、しんけん^{しんけん}に生きたいと思ひます」という言葉がありました。私は、戦争で亡くなった人たちの分も、しんけん^{しんけん}に生きたいと思ひました。ヒロシマで学んだことをしっかりと頭に残して、しんけん^{しんけん}に生きたいです。

町の木/スギ



町の花/タンポポ



町の鳥/ウグイス



町の面積

34.34km²

	人口	男	女	世帯数
R2.4月末日	19226人	9176人	10050人	8653世帯
前月比	-1人	1人	-2人	20世帯
	転入等	転出等	出生	死亡
人口前月比の内訳	67人	55人	4人	17人